



ぼくはなぜか東部ブータンが大好きだ。  
西部に比べ東部は開発が遅れている。  
でもそこにこそ、古き良きブータンが  
あると、人は言う。

「辻信一とともに歩く タシデレ（幸あれ）！～祈りはブータンの空に」より

## 祈りの豊かさに触れ 「足るを知る」を学ぶ



	スケジュール	*7/20 現在。現地の状況により変更することがあります。	宿泊地
1	11/3 (祝)	羽田または成田空港集合。タイ、バンコクへ。 トランジット手続きを経て、インド、デリーへ。	機内泊
2	11/4 (金)	早朝、インド・デリー着。入国手続き。 国内線乗り換え。航空便にてアッサム州、グワハティへ。 午後着。専用ハイヤーにて、陸路でブータン入国！（3時間）ペマさん出迎え。 夕食時、ペマさんに自己紹介。翌日の移動に備え、早めに就寝。	サムドルップ・ ジョンカル
3	11/5 (土)	朝食後、いくつもの峠を越え、ペマ・ガツツェル県へ。昼食。市内観光。 午後、さらにいくつもの峠を越えてチモン村へ。夕方着。村人たちの歓迎。休息。	チモン村（民泊）
4	11/6 (日)	チモン村での1日。村内散策（自由時間）。村の寺院や小学校訪問・交流。 オーガニックコットン畑で収穫体験。少量多品目栽培の菜園を見学。家事手伝い体験。	チモン村（民泊）
5	11/7 (月)	オーガニックコットンの綿織り、糸紡ぎ、草木染め、織りのワークショップ参加。 チモン・モワンメンバーへのインタビュー。夕方、文化交流の宴。	チモン村（民泊）
6	11/8 (火)	午前、村人たちとの別れを惜しみつつ、文化財指定の校舎を持つユルン中学校訪問。 昼食後、休憩をはさみながら、ブータン国境のサムドルップ・ジョンカルへ。 夕食時、ペマさんと旅の振り返り。ローカリゼーションに関する意見交換。	サムドルップ・ ジョンカル
7	11/9 (水)	早朝、ブータン出国。専用車にて陸路、インド・グワハティ空港へ。 午後、航空便にてバンコクへ。夕方、バンコク着。空港待機（夕食各自）。 深夜、バンコク発、日本へ。	機内泊
8	11/10 (木)	早朝、羽田または成田空港着。現地解散。	

※インド、ブータン内は専用車と徒歩で移動。

※ツアー中の食事は、11/9 夕食を除き、すべて旅行代金に含まれています。

### チモン・モアン（チモン村の綿）プロジェクト

- 「チモン・モアン」プロジェクトは、ペマさんの故郷でもあるブータン東部チモン村を舞台に、廃れてしまった在来のコットン文化を復活させようという運動です。自分たちで有機栽培した綿を、伝統的な手作業で糸に紡ぎ、草木染をし、織って布に仕上げます。コットン栽培と並行して、食料自給を基盤とするローカル経済の再確立にも力を入れています。
- ブータンではコットン栽培や製糸の技術が伝統的に受け継がれており、かつては各地で生産していました。しかし、近代化とともにその知恵や技術は失われつつあり、現在国内で使われる民族衣装も含む布製品のほとんどがインドなどからの輸入の遺伝子組み換えコットンです。ブータン政府が全土オーガニック化宣言をしているなか、チモン・モワンプロジェクトは、ブータンの山村における、ひとつの持続可能な発展モデルとして注目を集めはじめています。



ニンミンさんは数少ないコットン文化の伝承者

環境＝文化NGO・ナマケモノ倶楽部は、ブータン・エンシェント・ツアーズ&トレックのペマ・ギャルポさんと協働で、GNH（国民総幸福）をキーワードに、「豊かさ」を問い直すスロームーブメントを展開しています。www.sloth.gr.jp